

じょやえ 除夜会

日時 12月31日 午後11時45分頃より
その後 本堂で除夜会のお勤め
(正信偈草譜・3首引き)
その後 庫裏で「屠蘇の儀」



除夜の鐘

除夜の鐘を撞くことは、かなり古くからの伝統のようです。除夜の鐘は、108個撞くのですが、この数にもいろんな説があります。ひとつは、108煩惱なんだという説、もうひとつは、月の数の12、二十四節気の数の24、七十二候の数の72を足して108となり、一年間を表すという説などがあります。いずれにせよ、一年間にあったことを思い出すために撞いているのでしよう。徳勝寺では、お参りに来た方に撞いていただいています。どうぞ一年間を振り返りながら、心静かに梵鐘を撞いてください。

しゅしょうえ 修正会

日時 1月1日 午前10時より
(正信偈草譜・3首引き)
その後 庫裏で「屠蘇の儀」



お開き勤め

最近どこも止めてしまった行事に「お開き」があります。同行がみんなでお互いの家々のお仏壇を回って、お勤めをしていきます。小正月までにこの行事を行うのですが、最後の家でご法話をお聴聞して、一年が始まったものです。

寒い中を、みんなで揃って一軒一軒を回っていくのは、けっこう楽しい行事でもあり、懐かしく思い出します。このお開きでもそうですが、お正月のお勤めは、『正信偈草譜三首引』と決まっています。なぜかよく分かりませんが、いつものお勤めのように和讃を6首引くのではなく、一つ飛ばしにして3首で終わります。早くおせちがいただきたいからでしょうか。



元日

今年のお正月

みんなで双十しませうとて
みんなの御用の十はびきり
待っているのははなしてはなして

遠く遠くはなしてはなして
男の子たちの聲がする。

大戸卸して屏風をたてて
暗い暗いうちのなか、
お山の上つたにさみしきは。
凍てた表にかららうとて
さむい足駄の音がする。

昨日は夜を待ちくたびれて
今朝も跳ね跳ねお着物に着たが、
お正月とはさみしいものよ。
姉さん學校へいっちゃって
母さん御用がまたすまぬ。

今年度のご正忌報恩講では、上山大峻先生が金子みすゞの詩をたくさん紹介してくださいました。上に紹介しているのもその金子みすゞの「元日」という詩です。家族みんなで遊ぼうと約束をしていたのに、お正月の予定がたくさん入っているので、大人はそれぞれの用事をしていきます。ところが約束をした子どもがいつまでも、みんなの用事が済むのを待っている。大人は、楽しいお正月と聞いただけで、この子はたったひとり

みんなの用事が済むのを、待っているのです。こんなことは、しばしばありました。みんな自分の用事で忙しいから、相手をするのができないけれど、終わったら遊んであげよ、と言ったまま放ったらかしにされているんです。「しばらく待ったら、みんな帰ってくるんだから」と見捨てられたようになっていくんです。子どもは、そんな短い時間とっても寂しいのです。何かご用事を作っておいてくれると、それを楽しめるのですが、待っ

ているだけなのです。年末からお正月にかけて、用事が多いとは思いますが、寂しい子どもを作らないように、子どもたちにもできることを与えてあげてください。もちろん子どもだけでなく、お年寄りにも用事をお願いしてください。子どももお年寄りも、他の人の役に立つことが一番の幸せなのです。だれか、ほかの人のために何かをして、「ありがとう」と言われることが、一番嬉しいのです。

発行 平成18年12月10日
徳勝寺
〒769-2321
さぬき市寒川町石田東甲 618

Tel 0879 (43) 2023
Fax 0879 (23) 2008
URL www.daigo.or.jp
SNS daigosan.so-netsns.jp

本願寺の御正忌報恩講

徳勝寺では、毎年12月の第1日曜日(報恩講)に当っておりますが、京都の西本願寺では毎年の1月の9日から16日まで、報恩講をお勤めしております。これは、親鸞聖人が旧暦11月28日にお亡くなりになったので、太陽暦に換算しなおして1月16日のご命日としてお勤めしているものです。この間の8日間は、もっとも多くの参拝客があり、本願寺がもっとも賑わいます。



全国の末寺では、そのご本山の報恩講をお待ちしているというので「お取り越し」と呼んで、先にお勤めさせていただくのです。そのため、徳勝寺でも12月にお勤めしております。本願寺の報恩講では、さまざまなお勤めがあります。一年間で、この時にしかないお勤めもたくさんあります。ことに、日中法要や遠夜法要のお勤めには、雅楽も入り、天上からの音楽のように聞こえます。また、お初夜には改悔批判や御伝鈔拝読などは、本願寺独自のものですので、この時でないとお覧いただけません。さらに、16日の(満座法要)最後の法要)では、ご門主による「報恩講式」というお勤めがあります。これも大変珍しいお勤

めです。京都駅から西本願寺までは、歩いてもおよそ15分の行程です。上の地図を参考にしてください。おクルマでお出でになるなら、名神高速京都南ICから、まっすぐ東寺へ突き当たり、堀川通を北へ行くのが良いでしょう。駐車場は十分あります。この期間中は、飛雲閣や唐門なども拝観できますので、案内所でお尋ねください。



命日をお勤めするご法要です。一つひとつのお勤めが、御開山聖人ご自身がお創り下さったご文であったり、ご苦勞をともに偲ばせていただくお話であったりいたします。大変ありがたいご法要ですので、一人でも多くの人にお参りをしていただきたいと思います。お出かけになれない人のために、本願寺ではインターネットで生中継を行っています。下記を参考にして、ご自宅でお参りしてください。



住職も最近では本願寺からのご招待もありますので、しばしば本願寺の御正忌報恩講にお参りさせていただきます。

「お参りが少なくなつた」と以前からお参りになつておられるお年寄りや悔やんでおられますが、いつも満堂しており、一度すわつたら立つのが大変なありません。

この御正忌報恩講は、今はなき御開山・宗祖・親鸞聖人のご

本山報恩講の圧巻

それは何と言っても、15日から16日の朝まで続く通夜布教でしょう。何人もの布教使さんが交代で説教を続け、寝ずにそのままお晨朝にお参りをします。すると今度は、真譜のお正信偈をいただきます。

この通夜布教は、北側隣接地の間法会館で行われており、大浴場も一晩中入れますし、間には軽食も出ます。

もちろん、具合の悪くなる人も出ますので、診療所も一晩中待機しています。

インターネット中継

URL <http://www.hongwanji.or.jp/>
インターネット中継をみるには、Windows か Mac で、マイクロソフト社の Windows Media Player が動いていなくてはなりません。(詳しくはHPに書いてあります)
また、当日は世界中の人たちが繋がりますので、混雑して見にくいこともあります。ご了承ください。

本願寺御正忌報恩講 日程

14	00	遠夜法要(大師影供作法)
15	30	初夜(改悔批判)
10	00	10日(水) 晨朝(小経・日没礼讃偈)
10	00	日中法要(二門偈作法)
14	00	遠夜法要(奉讃大師作法)
15	30	初夜(正信偈、改悔批判)
11	00	11日(木) 晨朝(小経・初夜礼讃偈)
10	00	日中法要(正信念仏偈作法)
6	30	晨朝(小経・中夜礼讃偈)
14	00	日中法要(正信念仏偈作法)
15	30	初夜(正信偈、改悔批判)
11	20	特別講演 (本願寺派総務 村永行善)
10	00	遠夜法要(大師影供作法)
6	30	晨朝(小経・後夜礼讃偈)
14	00	日中法要(二門偈作法)
10	00	特別講演 (本願寺派布教使 藤榮行信)
11	20	特別講演

14	00	遠夜法要(奉讃大師作法)
15	30	初夜(正信偈、御伝鈔拝読)
6	30	14日(日) 晨朝(小経・晨朝礼讃偈)
10	00	日中法要(正信念仏偈作法)
10	20	第55回本山成人式記念講演 特別講演
11	40	第55回本山成人式 (本願寺派布教使 瀧淵良孝)
13	00	全国児童生徒作品展表彰式
14	00	遠夜法要(大師影供作法) 御俗姓拝読
15	30	初夜(正信偈、改悔批判)
6	30	15日(月) 晨朝(小経・日中礼讃偈)
10	00	日中法要(二門偈作法)
11	00	御法楽献詠
12	50	特別講演 (本願寺派勸学 北島典生)
14	00	遠夜法要(広文類作法) ご門主ご親教
18	00	初夜(正信偈、改悔批判)
18	45	通夜布教(16日6:15)
6	30	16日(火) 晨朝
10	00	(小経(漢音)・正信偈(真譜)) 日中法要(報恩講作法)